

ロジスティクス環境会議

第4回共通基盤整備委員会 議事録

・日時：2004年9月9日(木) 14:00～16:00

・場所：東京・港区 (社)日本ロジスティクスシステム協会 会議室

・出席者：14名

・議案：

- 1)用語集について
- 2)アンケート調査について
- 3)その他

・開会

定刻、津久井委員長により、開会が宣された。

・議事の経過

1. 議事

津久井委員長の司会進行のもと、以下のような議事が行われた。

1)用語集について【資料1-1、1-2】

鈴木委員(文化女子大)より、資料1-1に基づき、環境に関わる物流用語選定・定義におけるオープンリソース手法の活用について説明がなされた後、以下のような意見交換がなされた。

【意見交換の主な内容】

【委員】JISやISOの用語定義との関連付けはどうするのか。

【委員長】関連付けすることは重要視していない。

【委員】これからは、該当ページにアクセスすることは可能なのか。

【委員長】当委員会メンバーには、前回の委員会にアクセスするための資料を既に配布しているので、アクセスしていただければ閲覧および書込みも可能である。

2)セミナー企画を中心としたアンケート調査について【資料2-1、2-2】

事務局より、資料2-1、2-2に基づき、アンケート調査の概要および調査票の構成についての説明が行われた後、以下のような意見交換がなされた。

【委員】広報・普及専門委員会を中心としたシンポジウムやJILS主催の全国会議等の棲み分けは出来ているのか。

【事務局】シンポジウムは、環境会議メンバー以外も対象としており、1社でも多く環境活動に取り組む企業を増やすために開催する。当委員会のセミナーの対象は環境会議メンバーに限定しており、メンバーに役立つ情報提供を前提としている。

- 【委員】セミナーでは、トラック、船の技術動向や中国、東南アジア等の海外動向を中心に企画するべきではないか。
- 【委員】先進企業の事例をセミナーで聞きたい。
- 【委員】セミナーが年2回程度の頻度であれば、月1回程度の頻度で定例的な研究会を開催したい。

以上のような意見交換を踏まえ、セミナーおよび研究会は以下のように開催することが確認された。

(1) セミナー

今年度は2005年2月開催として、トラック、船の技術動向や中国、東南アジア等の海外動向を中心に当委員会で企画を進める。

セミナー企画に関するアンケート調査は行わない。

(2) 研究会

毎月1回第2木曜日に開催する。

【講演】17:30～18:30

【質疑応答】18:30～19:00

【交流会】19:00～19:30

講師は当委員会または環境会議メンバー等にボランティア（無報酬）として依頼する。

原則、会場はJILS会議室として、定員は30名とする。

資料は講演者の負担にならないよう、手持ち資料がレジメ程度（1枚/A4）とする。

第1回研究会

日時：10月14日（木）17:30～19:30

会場：JILS会議室

講演者：堀口氏（東芝物流）

テーマ：家電リサイクル法に関する実務者から見た課題（仮）

第2回研究会

日時：11月11日（木）17:30～19:30

会場：JILS会議室

講演者：鈴木氏（文化女子大学）

テーマ：自動車リサイクル法の裏側から見たポイント（仮）

(3) 共通基盤整備委員会の開催について

研究会の日程に併せて開催する。

毎月1回第2木曜日 16 - 17時

3) その他

(1) 関連法規の枠組みについて

鈴木委員（文化女子大学）を中心に、11月末までに作成することが確認された。

(2) リンク集について

堀口委員会を中心に、各リンク先の解説を加え、10月をベースに、企画をまとめることが確認された。

4) 今後のスケジュールについて

第5回委員会は、以下のとおり開催することが確認された。

日時：10月14日(木) 16 - 17時

会場：JILS会議室

2. 閉会

以上をもって全ての議事を終了し、津久井委員長は閉会を宣した。

以上